

会議録

会議の名称	加東市男女共同参画プラン策定委員会第1回会議
開催日時	令和4年6月29日 10:00~12:00
開催場所	加東市役所 501会議室
<p>議長の氏名 (中村 和子)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p><出席委員>・中村 和子・車井 浩子・片岡 静代・茂木 美知子・藤井 秀明 ・梶原 真理・小泉 由香・藤川 ひろみ・藤原 良二・庭瀬 真由美 ・小畠 涼子</p> <p><欠席委員>・西山 三希夫 ・植田 尚也</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>・市民協働部長 土肥 彰浩 ・市民協働部人権協働課長 西山 太 ・副課長 小坂 淳子 ・主査 金井 誠</p>	
<p>議題、会議結果、会議の経過及び資料名</p> <p>1 議題</p> <p>(1) 策定委員会の運営について</p> <p>(2) 第4次加東市男女共同参画プラン策定について</p> <p>(3) 第4次加東市男女共同参画プラン策定スケジュールについて</p> <p>(4) 市民意識調査調査票(案)について</p> <p>(5) その他</p> <p>2 会議の経過</p> <p>・開会あいさつ</p> <p>事務局 定刻となりましたので、第1回加東市男女共同参画プラン策定委員会を開会します。</p> <p>・委嘱状の交付</p> <p>・市長あいさつ</p> <p>・委員及び事務局自己紹介</p> <p>事務局 続きますので、本策定委員会につきまして、加東市男女共同参画プラン策定委員会設置要綱に基づいて、簡単ですが説明させていただきます。</p> <p>(資料2を基に説明)</p> <p>・委員長・副委員長の選出</p> <p>事務局 次に当委員会の委員長及び副委員長の選任に移ります。先ほどの設置要綱第5条の規定によりまして「委員長は、委員の互選によるものとし、副委員長は委員長が指名する」とありますので、これに基づき選出していただきたいと思っております。まず、委員長の選任ですが、委員の互選により定めることとなっておりますが、どのような方法で選出したらよろしいか、ご意見等ございましたらお願いいたします。</p>	

委 員 皆さんから案がなければ事務局に一任してはと思いますがいかがでしょうか。

(賛成多数)

事 務 局 ありがとうございます。事務局一任の声がありましたので、事務局から提案させていただきます。委員長を、中村和子様をお願いしたいと考えていますが、いかがでしょうか。拍手をもって承認とさせていただきたいと思えます。

(多数拍手あり)

ありがとうございます。中村様よろしく申し上げます。

(中村委員は委員長席に移動)

次に副委員長につきましては、委員長が指名するとありますので、中村委員長からご指名をお願いいたします。

委 員 長 専門家ということもあり車井委員をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

(拍手多数)

事 務 局 ありがとうございます。

(車井委員は副委員長席に移動)

それでは中村委員長、ごあいさつをお願いします。

委 員 長 (あいさつ)

事 務 局 それでは、委員会設置要綱第6条第2項の規定によりまして、これからの議事進行につきましては、中村委員長をお願いしたいと思います。

委員長よろしくをお願いいたします。

3 議事

(1) 策定委員会の運営について

委 員 長 それでは議題にはいります。まず、策定委員会の運営について事務局より説明をお願いします。

事 務 局 (資料3を基に説明)

委 員 長 事務局より策定委員会の運営について説明がありましたがご意見や質問はありませんか。なければ原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

それでは議事録署名人を指名させていただきます。車井浩子委員と茂木美知子委員をお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

(2) 第4次加東市男女共同参画プラン策定について

委 員 長 それでは第4次加東市男女共同参画プラン策定について、私からスライドを用いて説明させていただきます。今現在の男女共同参画でどんなことが問

題なのか、色々な思いや、わからない事もおありかと思いますが、その思いを調整する意味で、ご自分が何か心に残るものを見つけていただければと思います。

(スライドを基に「男女共同参画基本のキ」を説明)

ご意見や思われることなどあればお聞かせいただけますか。

委員 お話を聞くまでは、男女共同参画プランとは「男女平等」に、というイメージだった。個人的な意見として、男女平等とはいえ、男性が女性の役割と同じことをするのは無理だし、女性が男性の力仕事などの役割をこなすのも無理だと思っていた。しかし、平等とは、男性が女性の真似をすることではないし、女性が男性の真似をすることではなく、個性を認めようとするのだと気付いた。女性が自分がしたいことを我慢しなくていい世の中になったらいいなと思う。

もう一つ、高度成長期時代の感覚が根強い。自分が稼いでこなくてはいという意識が強く、家庭の中でもそういう姿を見せており、息子には「男らしく」「リーダーシップを持って」という考え方を、娘には「女の子だからそういうことをしてはいけない」等と伝えて、知らず知らずのうちに、家庭内での役割も決めてしまっている。ポジティブな意味で、女性の役割、男性の役割があっても良いとは思いますが、「女の子でもこういう機会もあるし、こういう事もして良いんだ」というような考え方を家庭内にも浸透させていきたいと思う。

委員長 子どものことがすごく気になりますね。役割が固定的であることに問題があると思います。

委員 私の母親は押し付けるタイプではなく、好きなように自由にしなさいと言われて育ってきたが、それでも自分の中では、男女の役割という意識がある。家庭だけの問題ではなく、学校・社会という大きなところで、しくみを教えてもらい、しっかり変えていける場が必要かなと思った。

委員長 そういう思いついて、どこかで話せていますか。ママ達はすごいネットワーク持たれてますね。

委員 そうなんです、日々を生きることに精一杯で、そこまでなかなか意識がまわっていません。

委員 私が育った家庭は、父がとても優しく、どちらかというと母の力が強かったもので、社会に出るまでそれほど男女の差があると思ってなかった。しかし社会に出た途端、世間とのギャップを感じた。女性も家でおしとやかにしているのが好きな人もいれば、外でどんどん活躍したい人もいる。それぞれの個性だから、それぞれしたい事をしたらいいが、その足かせになるようなことは排除していかなければならないと思った。前回平成30年度の意識調査結果をホームページで見た。古い世代よりも若年層の理解が確実に進んでいる結果がはっきり出ているが、それを皆さんに知らせてほしいと思った。みんなもこんな風に考えているんだと、上の世代が若い子はこれが普通なんだと知ることだけでも違うのかなと思う。

委員長 実は40代で意識の断層がある。意識調査でもヒアリングでも、42～43歳を境に男性の意識が違ってくる。家庭科共修がその年代以降始まったことが要因。やはり教育は重要で、大きなキーワードだと思う。

委員 何気なく新聞を読んだりテレビを観ているだけではなかなか気付かない

が、そこで「なんかこれおかしいな？」と疑問に思う人が一人でも増えていけばいいなと思いました。

委員 相談業務を日頃行っているのですが、今日のお話で改めて、共感する部分が多かった。相談内容も多様性が進んでいる。相談者は外国人や様々な方々で、女性の中でも多様化している。なぜ男女共同参画が重要かという、背景の部分で根強く、自分の中に無意識に固定観念を持っていて、相手や自分を責めることが結構あるんじゃないかと思う。例えば「それってどうなん？」と言うと、「えっ？当たり前なんじゃないですか？家事ができないことを責められる場所じゃないんですか？」と言われたりすることがある。

委員長 女性自身も縛られているから、自分で自分自身を苦しめていることもある。少し気付くだけで楽になる。

委員 息子に子どもがいる。息子は育休を取れなかったが、終業時間を早く切り上げ、両家みんな協力して子育てを一緒に頑張っている。大変な思いをしているのは、夫や息子です。つくづく子育ては大変だと息子も言っている。

委員長 脳科学によると、男性が育児に関わると、テストステロンという男性ホルモンが20～30%減少し、思考パターンに多様性が生まれやすくなる。育児休業や介護休業を取得し職場に戻ってきた職員はすごく変わると言う。それは会社にとってメリットと判断できるから、会社も休ませるようになってきている。

委員 違和感を抱えながら生きてきたが、違和感や嫌悪感の正体がわからず、感じているのは自分だけで、社会は違うのかなと何となく流されてたように思う。自分自身は、あまり男女の差を感じながら生きてこなかったけど、今日のスライドを観ると確かにあるし、男女だけではなく立場の違い等があるのに、そういうものだと思ってしまっただけと気付いた。女性がPTAの会長をしている中学校もあると聞いた。最初は女性が会長なんてと驚いたが、今日の話聞いて、そういう思い込みをしていた自分が勉強不足で、もうそんな社会ではなくなっているんだと気付かされ、衝撃だった。違う社会になっていくんだと知れてよかったし、皆にも聞いてほしい。既に子供は学校で学んでいるし、社会に出る時に学校で習ったこととのギャップが無い社会を用意しておいてあげたい。

委員 私の知る限り、男性で育休を取得した先生は2人しかいない。非常に少ないと実感した。小学校に勤務しているが、男性であっても、担任として時に母性を求められることがある。家でそれを活用することができているかは不明であるが、現在加東市の小中学校ではすべて混合名簿を利用している。私が最初に使われたのを見たのは25年前。昔ランドセルは黒と赤のみだったが、今は様々な色が使われている。持ち物に関して、男の子らしさを学校から押し付ける事は極力なくし、強く指導することはない。制服も2種類用意されていて男女ともスカートとスラックスを選べるようにしている。先ほど男の方が辛い目にあっているという話があったが、経験上、同感したことがある。女の子でスラックスを選んだ子が過去に2人いたが、男の子でスカートを選んだ子はいない。本当にいないのか、スカートをはきたくても言い出せなかったのかわからない。結果を見ても女の子の方が相談しやすい雰囲気はあるのかもしれない。

委員長 ある高校の調査で、制服をなくしてほしいという要望があった。制服が理由で、不登校となっていた。

委員 今日のお話を聞き、自分の視野の狭さを感じた。いま子供達が通っている学校は、子育て、親育てをテーマに掲げられておりその考え方がとても好きで、絶対にここで育ててもらいたいと思った。今日は、参加できてよかったです。

委員長 ありがとうございます。人間にはいろいろな背景があり、男女を超えてそれぞれの人がそれぞれの個性で認められていく、それが男女共同参画で究極に求めないといけないところだと思っています。今後もこう言ったようにご意見を頂ければと思います。

それでは第4次加東市男女共同参画プラン策定スケジュールについて事務局から説明をお願いします。

(3) 第4次加東市男女共同参画プラン策定スケジュールについて

事務局 (資料4を基に説明)

令和4年度は、10月上旬に2週間程度の期間で市民意識調査を行います。18歳以上の加東市民4,000人を対象に、30問程度の設問とします。会議は3回を予定し、今回は第1回で、プランの趣旨説明を行い、8月上旬の第2回で、市民意識調査の調査案に対して検討修正を加え設問を最終決定します。来年3月上旬に第3回、調査結果報告とプランの骨子案について皆様にご審議いただきます。

令和5年度はプランを実際に作成します。会議は4回を予定し、6月下旬に基本的な方向性を決定します。第5回までに素案をお示しし、会議ではそれについて検討いただき、これを基にプラン案を作成し、第6回で内容をご審議いただきます。その後策定委員会案を加東市議会に報告するとともに、市民からパブリックコメントを募集し、第7回でプラン案を最終確認し、2月中旬から3月下旬にかけて計画書を作成します。

委員長 事務局より第4次加東市男女共同参画プラン策定スケジュールについて説明がありましたが質問やご意見はありませんか。

(質疑なし)

委員長 それでは市民意識調査調査票(案)について事務局からの説明をお願いします。

(4) 市民意識調査調査票(案)について

事務局 (資料5、6、7を基に説明)

委員長 事務局より市民意識調査調査票(案)について説明がありましたが質問やご意見はありませんか。

A3の資料は今までの設問の流れがわかるようになります。次回この原案を検討することになります。次回会議までに意見を忘れてしまいそうであれば、電話で事務局に連絡しても大丈夫です。それでは進行を事務局にお返しします。

(5) その他

事務局 全般を通して何かご質問、ご意見がありましたらお受けします。

(質疑なし)

閉会にあたりまして、車井副委員長ご挨拶をお願いします。

4 閉会

- ・閉会あいさつ

副委員長 (あいさつ)

事務局 以上をもちまして第1回加東市男女共同参画プラン策定委員会を終了いたします。

令和4年8月24日

委員長 中村 和子

署名人 車井 浩子

署名人 茂木 美知子